

令和2年度 第4学年 授業改善推進プラン

	児童の実態	改善プラン
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の習得に個人差がある。 自信をもって自分の意見や考えを伝えることに課題のある児童もいる。 読書量や読む本の種類に、差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の習熟テストやテスト直し、練習を繰り返す行い、習熟を図る。 自分の考えを伝えたいような場の設定をする。伝えることができた時に称賛する。 朝読書や図書の時間を利用して、読書時間を確保する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 県名と県庁所在地の理解や地図の読み取りなどに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳や各種の具体的資料を活用した授業を行い、定着を図る。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の習熟が十分でない児童が見られる。 文章題から読み取ったことを図に表すことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習の時間を活用し、基礎・基本の定着を図る。 自分の考えを図に表す活動を授業の中で日常的に取り入れる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な語句に対する知識が不足し、実験で気付いたことが考察や結論に結び付かないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な語句について、児童の分かりやすい言葉で説明したり、考察を書かせる時間の確保や具体物を見せてイメージを膨らませるなどの指導を行う。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 曲想にあった歌唱を表現する技能や、聴こうとする力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 美しい歌声での強弱の付け方について、何度も経験させる。その際、体の使い方や良い響きに常に注目させ、良い音を聴き取る力を育てる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> のびのびと活動に取り組むことができているが、技能の習得に差がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導を充実させ、スモールステップで児童の技能の習得を図る。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動技能の習得に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を見付けさせ、めあてをもって運動に取り組ませる。 技や動きのポイントを押さえ、友達と見合う活動を取り入れることで、基本的な技能を身に付けさせる。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 語彙や表現の習得状況には差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元で用いる語彙や表現について、十分なインプットの機会をつくる。